

出版情報

書名・件名	平成6年版 労働経済の分析
編集者・監修者	労働省
発行日	

「平成6年版労働経済の分析」(労働白書)の発表に当たって

現在,我が国の産業・労働をめぐる状況は,大きな変革期に直面しております。経済活動の国際的結びつきがますます緊密なものとなる中で,これが我が国の雇用や勤労者生活にこれまで以上に大きな影響を及ぼしてきております。また,高齢化,働く女性の増大,勤労者意識の多様化などが大きなうねりとなって生じており,一人ひとりの働き方が問われております。

今後,産業をめぐる構造変革は避けて通れませんが,それを円滑に進め,勤労者生活をより豊かなものとしていくために,大切なことが三つあります。第一は,我が国の大きな長所である雇用安定の仕組みを,これからも堅持していかなくてはならないということです。何よりも職を失う苦しみには計り知れないものがあり,そうした一人ひとりの痛みを忘れた政策は空しいものといわなければなりません。第二は,様々なニーズをもつ勤労者がより主体的にその働き方を選ぶように,雇用システムを一層柔軟なものにしていくことです。第三は,産業発展の基盤ともいべき人材の蓄積を図っていくことです。我々は,これらの三つの目標を同時に達成しうるよう,英知を絞っていかねばなりません。

そこで,今年の労働白書は,構造調整の中で,雇用安定を基盤としながら豊かな勤労者生活を実現していくための課題について考えてみることにしました。

この白書が,国民各層の理解を深める一助となれば幸いです。

平成6年6月 鳩山 邦夫 労働大臣
